

第5回ミニWS 11月27日(金)18時~20時30分

テーマ「1964年東京オリンピックと建築」

「国立競技場」1958年 ・解体編13分・完成編21分

設計 建設省関東地方建設局営繕部建築第一課 角田栄、片山光生

施工 大成建設

製作 大成建設 監修 横内憲夫 撮影・編集 服部茂 解説 宮田輝

戦争中、学徒出陣の壮行会があった明治神宮競技場を解体して、そこに新しい国立競技場が建設されることになる。東京オリンピックを視野に、第3回アジア大会に向けて建設が急がれた。この映画は1部解体編、2部建設編、3部完成編で構成されているが今回時間の都合で1部、3部を上映します。撮影は設計技師が担当した。

・「かわった形の体育館」1964年24分

設計 丹下健三 構造 坪井善勝 設備 井上宇市

施工 清水建設

製作 岩波映画製作所 演出 崎野四郎 撮影 岡田久・上村龍一

代々木第一体育館の建設技術映画を一般向けに再編集した映画。オリンピック選手村の選定が遅れたため1年半と短い工期で完成した。1960年代丹下健三たちが夢見た理想の都市像の代表作として知られる

・「東京オリンピックニュース」1962年12月30分 英語版

企画 東京オリンピック組織委員会

製作 岩波映画製作所 演出 藤久真彦 撮影 守部甫

海外向けにオリンピックを迎える東京の紹介と準備状況を参加国に案内した紹介映画。

英語、フランス語版のみ製作された。今回発見されたのは英語版。画面はフランス語表示になっている。構成は競技施設の工事状況、ワシントンハイツ、東京の10月行事(運動会、お祭り)、駒沢スポーツ公園、馬事公苑、大学スポーツ、宿泊施設、銀座のナイトライフ、企業スポーツ、近代産業と60年代の日本を紹介。演出藤久真彦はその後作家三神真彦に転身。

お話し「南後由和」さん プロフィール

明治大学情報コミュニケーション学部 専任講師

社会学、都市・建築論

1979年大阪府生まれ、東京大学大学院学際情報学府博士課程単位取得退学 主な編著に『建築の際』（平凡社、2015）、『磯崎新建築論集 7 建築のキュレーション』（岩波書店、2013）、『文化人とは何か?』（東京書籍、2010）、共著(分担執筆)に『モール化する都市と社会』（NTT出版、2013）、『榮久庵憲司とGKの世界』（世田谷美術館、2013）、『メタポリズムの未来都市展』（新建築社、2011）、『アーキテクチャとクラウド』（millegraph、2010）、『The Architectures of Atelier Bow-Wow: Behaviorology』（Rizzoli、2010）。